

ビーム利用検討委員会準備会議事録

日時：平成 28 年 7 月 17 日 14:40-16:45

場所：エポカルつくば小会議室 405

・山田和芳 KEK 物構研所長から、「世界最高の放射光施設 の実現に向けて」というご挨拶を頂いた。

・KEK 放射光計画の進捗状況（村上施設長）

計画の進捗，ロードマップの改訂，放射光計画に関する KEK Project Implementation Plan (KEK-PIP)， KEK での組織体制，CDR (Conceptual Design Report) 暫定版について，放射光計画の必要性や CDR 作成スケジュールを含めて紹介があった。

・委員会のミッションについて（近藤委員長）

フラッグシップ選定，CDR/TDR に掲載するサイエンスケースの編集，展開されるサイエンスによりビームライン検討委員会へ提案する，新しいサイエンスを目指す研究会の開催等のミッションが紹介された。直近には CDR，ワークショップに寄与する。

・委員会メンバーについて（近藤委員長）

現在の委員構成について承認した。企業や他組織からの委員は委員長が追加する。

・世話人について（近藤委員長）

フォトンファクトリー将来計画検討委員会最終報告書にあるサイエンス十分野，および施設から世話人を選定した。各分野のまとめ役となる。

・CDR に掲載するサイエンスケースについて（近藤委員長）

CDR に掲載するサイエンスケースの意義について，また，委員（サイエンス提案と査読）・UG 代表（UG の将来 を見た提案）・世話人（テーマの選定・査読・フラッグシップの検討）の役割分担について説明があった。また，サイエンスケースの査読・編集について方法や日程案が説明された。関連する協議を行った。

・KEK 放射光ワークショップについて（近藤委員長）

9 月 11，12 日に小林ホールで開催という日程が紹介された。PF-UA から共同利用幹事が担当し，この委員会の世話人を中心に分科会の取りまとめをお願いしたい。1 日目にサイエンス分科会，2 日目に分科会のフラッグシップ 発表と全体会議という日程を考えている。

・今後の予定（近藤委員長）

サイエンスケースの詳細を元に，対外的アピールであるサイエンスフラッグシップの作

成, CDR/TDR の作成への寄与, ビームライン委員会への提案, ワークショップ分科会での議論を行う。直近には CDR テーマのタイトルと執筆者を委員より提案してもらう。